

- 1 学力の向上
- 2 基本的な生活習慣の確立
- 3 生きる力の育成



佐川高校 進路部だより NO.3

10月14日

進学情報(高知工科大学)

○高知工科大学について

高知工科大学は、公立化に伴い、昨年度は入学定員並びに推薦枠の大幅な変更がありました。県内推薦枠115名に対して昨年度は114名が志願し、104名が合格しています(推薦枠内合格率91.2%)。工学系に興味・関心がある生徒は是非検討してください。(表1参照)。ただ、この結果から今年度は志願者が殺到する可能性もありますので注目が必要です。

今年度は、昨年度ほどの変更点はないようですが、新たにスポーツ推薦枠が設けられています。調査書の評定平均3.5以上、県内大会ベスト8以上で、合格後スポーツに熱心に取り組み、入学を確約できる生徒が対象です。重点スポーツ分野として、卓球・バレーボール・ソフトボール・バスケットボールがあげられていますが、種目は問わないそうです。入学定員枠以外の募集人員なので定員は若干名です。

表1 平成22年度高知工科大学 推薦入試状況(県内枠のみ)

学群・学部	県内推薦枠	志願者(倍率)	受験者	合格者(率)
システム工学群	45	43 (0.96)	43	41 (95.3%)
環境理工学群	20	11 (0.55)	11	8 (72.7%)
情報学群	25	31 (1.24)	31	27 (87.1%)
マネジメント学部	25	29 (1.16)	29	28 (96.6%)
合計	115	114 (0.99)	114	104 (91.2%)

就職情報(激戦です)

10月12日現在、就職希望生徒31名(右表)の内、内定者数は、男子(県内7名、県外7名)女子(県内1名)の15名です。

マスコミで報道されているように、今年はさらに競争が厳しくなっています。筆記試験や面接および高校三年間の全成績(裏面参照)などで厳正に審査します。1・2年生の時の成績(授業への取組)が重要なのは言うまでもありません。また、公務員試験もとんでもない高倍率になっており、佐川町を受験した生徒に聞くと、150~160名ほど受験したようです。高知市消防も同じく150名ぐらい受験がいたと言っていました。

	県内	県外	公務員
男子	11人	10人	3人
女子	4人	2人	1人

二学期中間試験
18日(月)~
21日(木)

学習支援テスト(11月9日火曜日)

ほとんどの高知県内公立高校が参加して、国語・数学・英語の三教科の基礎学力試験を行います。学習状況アンケートも同時に実施します。

アンケート内容は ○進路について ○授業・家庭学習について ○勉強、学習意欲について ○進路意識、職業観、勤労観などです。

一年生対象です。

評定平均値(知っておこう)

推薦入試(進学)を受ける時、各大学は面接や独自の筆記試験を実施するが、特に調査書(内申書といった方が分かるでしょうか)における学習記録を最も重視しているそうです。評定平均値とは、1年から3年までの全科目の評定(5段階)を全て合計し科目数で割って求めます。

教科の平均値は、数学の場合を例にとると、1年から3年までの数学の評定全ての合計を科目数で割ります。このような学習の記録を合否判定に利用しています。

大学や専門学校で推薦入試の出願条件には評定平均値3.5以上や4.0以上と書かれています。条件に合った成績でなければ出願(受験)できません。

高校3年間の全ての科目の評定で計算するということは、1.2年から努力しておかなければならないということです。3年になってから平均点を上げるのは難しいことを知っておかなければなりません。

目標をB段階以上において日々の授業や定期考査にのぞんでいくべきでしょう。

評定平均値が

4. 3以上の場合をA段階、
3. 5以上をB段階、
2. 7以上をC段階、
1. 9以上をD段階、

進学希望状況(10月13日現在)

	四大	短大	専門	その他
男子	7	0	13	3
女子	5	5	19	0

～専門学校と名前の付いていない学校には無認可の学校が含まれます。その場合、卒業しても高卒のままです。資格よりも実践を重視して無認可の学校を選ぶ場合もありますが、担任や進路指導部とよく相談して決めてください。

看護師養成校・リハビリ系やはり人気

県内の看護専門学校やリハビリ専門学校の推薦入試がスタートしました。予想通り高人気です。指定校推薦はほぼ100%合格しますが、その他の推薦では競争率が高く、不合格者も出ています。この分野への進学希望者は評定平均4以上を目指して早くから努力しなければならないと言えるでしょう。また、進学した後の勉強も最終的に国家試験に合格しなければならないので大変です。

お隣の清和准看護学院の入試要項も届きました。今年度から2段階選抜になりました。1次試験で国語・数学・英語・小論文、1次合格者が2次試験に進み、適正検査・面接となります。1.2年生はやはり早くから自分の進路について考え始め、このような医療系や国公立大学を希望する者はすぐにでも取り組みをスタートしなければなりません。

まずは、ホーム主任および進路指導部に相談してください。



夏休み中に実施した、就職希望生徒に対するスキルアップ講習会の様子です。外部講師に2日間指導を受けました。そのあとさらに進路指導部・H主任から面接指導を複数回受けます。進学する生徒も同様に練習します。普段から、笑顔が自然に出せるように心がけておくといわれています。(口角を上げる)

